

## I 第44週の発生動向 (2013/10/28~2013/11/3)

- RSウイルス感染症、感染性胃腸炎については、患者報告数は横ばいです。
- 水痘については、弘前、上十三、むつ保健所管内で前週より患者報告数が増加しています。

## II 第44週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)			
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点		
小児科 +内科	(85)	インフルエンザ													0						
小児科	(74)	RSウイルス感染症	16	2.0	1	0.1	1	0.1	11	2.2	9	1.5	2	0.5	40	1.0			16	2.0	
	(75)	咽頭結膜熱	15	1.9	1	0.1	1	0.1	1	0.2	1	0.2			19	0.5	13			15	1.9
	(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.4	4	0.4	6	0.7	2	0.4	8	1.3			23	0.6	-8			3	0.4
	(77)	感染性胃腸炎	6	0.8	9	1.0	11	1.2	2	0.4	1	0.2	11	2.8	40	1.0	-1			6	0.8
	(78)	水痘	7	0.9	7	0.8	11	1.2			14	2.3	12	3.0	51	1.2	14			7	0.9
	(79)	手足口病	4	0.5	6	0.7	4	0.4			10	1.7	6	1.5	30	0.7	7			4	0.5
	(80)	伝染性紅斑					2	0.2			1	0.2			3	0.1	3				
	(81)	突発性発しん	5	0.6	2	0.2	1	0.1			2	0.3	5	1.3	15	0.4	-3			5	0.6
	(82)	百日咳														0					
	(83)	ヘルパンギーナ	2	0.3	6	0.7							2	0.5	10	0.2	-1			2	0.3
(84)	流行性耳下腺炎			1	0.1			3	0.6			5	1.3	9	0.2	2					
眼科	(86)	急性出血性結膜炎														-1					
	(87)	流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5	2	2.0	1	0.5			5	0.5	1			1	0.5
基幹	(92)	クラミジア肺炎														0					
	(93)	細菌性髄膜炎														0					
	(95)	マイコプラズマ肺炎			1	1.0	5	5.0					3	3.0	9	1.5	-2				
	(96)	無菌性髄膜炎														0					
	(101)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.0			1	0.2	1				

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患):青森市1人、弘前3人、八戸3人、上十三3人(2013年計:261人)
- (17) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):弘前1人(2013年計:59人)
- (75) 梅毒(五類全数把握疾患):八戸1人(2013年計:4人)

## IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。

# 感染症の窓

## RSウイルス感染症

(五類定点把握疾患)

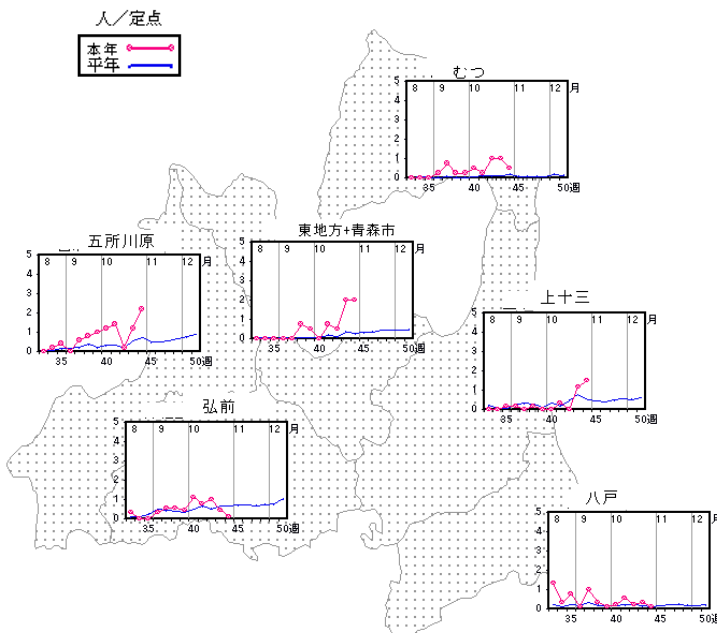


図 保健所管内別定点あたり患者報告数の推移

RSウイルス感染症の患者報告数は、国内では例年冬期にピークが見られます。2013年の県内の報告数は、10月下旬から増加しており、東地方+青森市、五所川原、上十三、むつ保健所管内で同時期の過去10年間の平均を上回っています(図)。

本疾患の病原体であるRSウイルスには、生涯にわたり感染を繰り返す、多くは感冒様症状等で軽症です。しかし乳幼児の肺炎、細気管支炎の原因の多くを占め、特に生後数週間~数カ月間の時期には重篤な症状となる場合があります、注意が必要です。

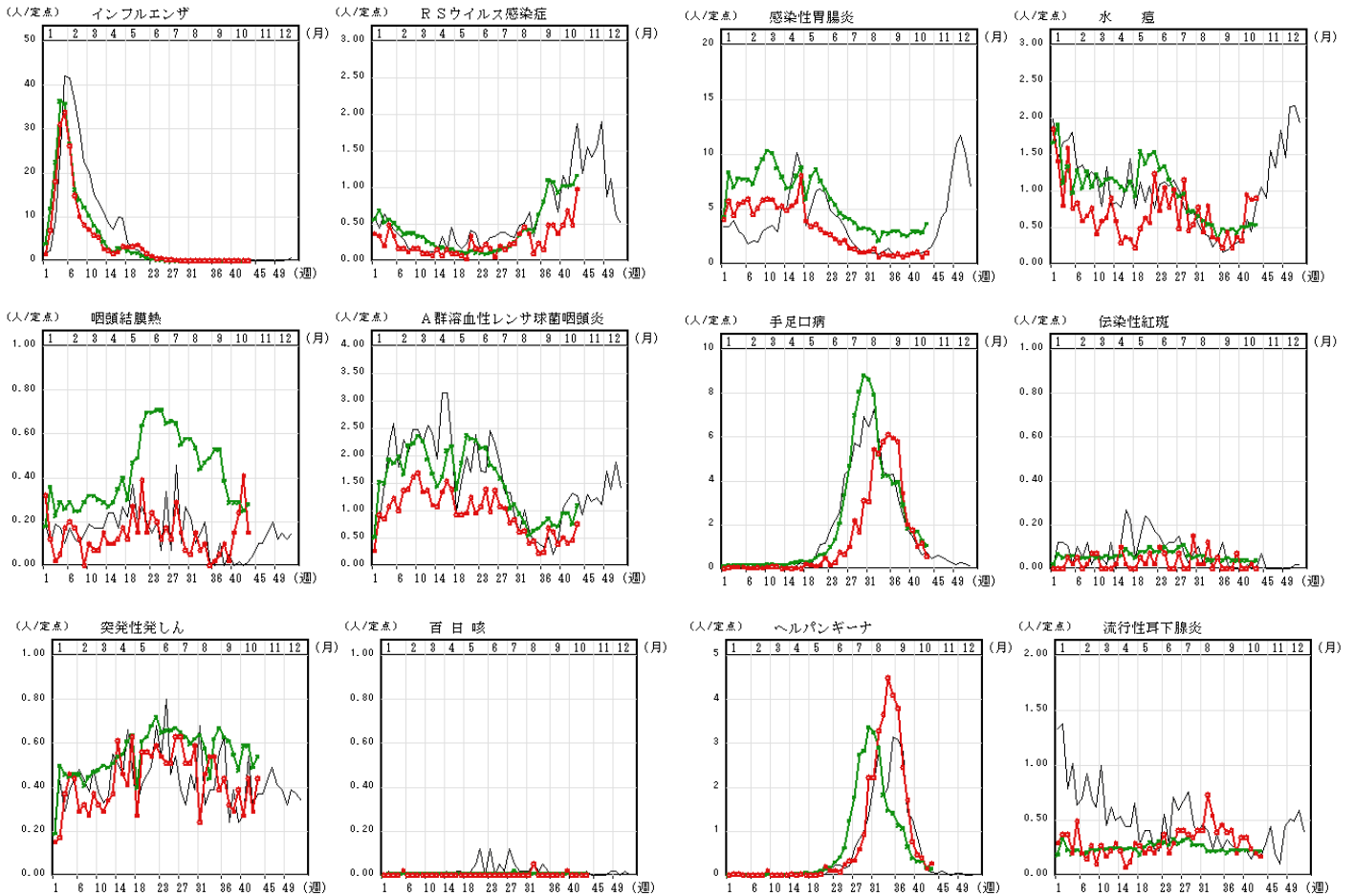
感染経路は飛沫感染と接触感染です。年長者の再感染では、感染に気付かない軽症も多いことから、乳幼児への感染予防のため、日常的に乳幼児に接する人はマスクを着用して接すること、流水・石けんによる手洗いの励行が大切です。またアルコール等による、おもちゃなど乳幼児の触れるものの消毒も重要です。

厚生労働省のホームページではQ&Aを掲載しています。

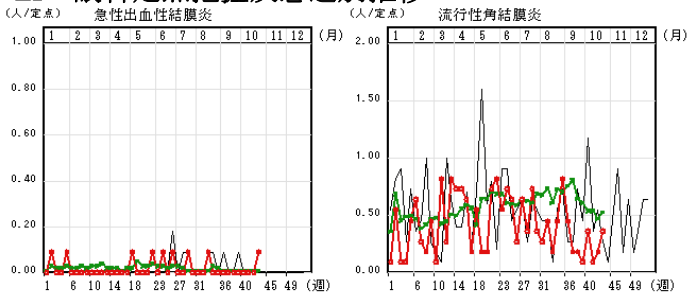
([http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-ansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html))



グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第43週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第43週

